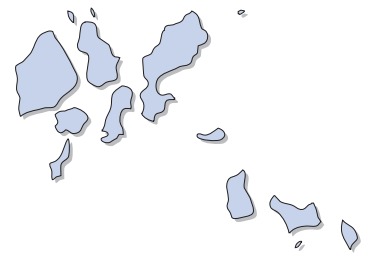


上島町

10月11日
～11月15日みやわき まさとし
宮脇 政敏氏

(前上島町議会議員)

総務大臣感謝状受賞

この度、岩城地区の宮脇政敏氏が通算36年間町議会議員として、永きにわたり地方自治発展の功労が認められ、総務大臣感謝状を受賞されました。今後、さらなるご活躍をお祈り申し上げます。



弓削商船高等専門学校

全国高等専門学校 第19回プログラミングコンテスト

課題部門 優秀賞、自由部門 敢闘賞 受賞

10月11日、12日の2日間、福島県いわき市のいわき明星大学において、「全国高等専門学校第19回プログラミングコンテスト」(高専プロコン)が開催されました。プログラミングコンテストは、全国の高等専門学校の学生が、日頃の学習成果を活かし、情報処理技術におけるアイデアと実現力を競う大会で、与えられた課題テーマに沿った独創的な作品を競う課題部門と、参加者の自由な発想で開発された作品を競う自由部門、参加チームの直接対決により勝敗を決定する競技部門の3部門で競われます。弓削商船高等専門学校からは、課題部門・自由部門・競技部門のそれぞれに出場し、課題部門で優秀賞、自由部門で敢闘賞を受賞しました。

課題部門で受賞した「Heartful Alarm」(心機能異常検知対応自動緊急通報システム)は、いつ発作が起こるか分からない心疾患の患者が安心して暮らせるように携帯型端末で心臓の異常を監視し、緊急時に早急に各機関へ通報するなどのシステムで、自由部門で受賞した「GTD M@IL」は、メールをそのままスケジュールとして管理するシステムです。

課題部門・自由部門の皆さんおめでとうございます。これからも頑張ってください。なお、競技部門は本選期間中に正常な形で試合が実施できなかったため、再試合が行われるそうです。競技部門に出場する皆さん頑張ってください。

■課題部門 参加学生

小柳亜由美さん (5年生)

徳田 麻矢さん (5年生)

笹井 愛実さん (4年生)

露口 和樹さん (3年生)

長尾 詩織さん (2年生)

■自由部門 参加学生

エルバダウイ ヤスインさん (5年生)

松本 優幸さん (4年生)

ファムターン ソンさん (4年生)

上甲 萌さん (3年生)



弓削商船高専

ロボットコンテスト

四国地区大会

10月26日、弓削商船高等専門学校において、アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2008 四国地区大会が行われ、四国地区の高専6校12チームが出場しました。21回目となる今年は、「生命大進化」をテーマに歩行に挑戦し、ロボットが多足歩行から2足歩行へ華麗に変身する過程を、オリジナルのパフォーマンスで披露し、会場を魅了していました。



笑いは健康のみなもと

上島町文化公演

11月9日、せとうち交流館において、平成20年度上島町文化公演が開催され、会場には300人の方が入場しました。今年林家卯三郎さんと桂蝶六さんの落語があり、笑いも形から入ることや狂言の笑い方などの練習を全員でしたりして会場に集まった人たちは大きな声を出して笑っていました。

続いて、ゼンジー一億さんの爆笑！トーク&マジックが行われ、大阪弁とオネエ言葉の毒舌を織り交ぜながらマジックを披露し、大いに盛り上がりました。

また、最後に林家卯三郎さんと桂蝶六さんによる大喜利が行われ会場は大爆笑のうちに幕を閉じました。



弓削高等学校

60周年記念式典

10月25日、弓削高等学校において、創立60周年記念式典に併せ、記念講演や芸術鑑賞会が行われました。記念講演では、現在今治明德高等学校教頭で日本男子やり投げの第一人者である生名出身の村上選手を育てた濱元一馬先生（弓削高等学校出身）が講師として招かれました。濱元先生は、人との出会いは自分を変えるきっかけになることや、夢を持ち続けなくてはいけないことの大切さなどを話されていました。

翌日には、文化祭が行われました。合唱コンクールや芸術文化発表、バザーの販売や餅つきなどが行われ、大勢の人が訪れていました。



サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト

10月15日から17日の3日間、弓削中学校において「プログラミングで対決！ロボット対戦で学ぶコンピュータの仕組み」と題した講座が開催されました。この講座は、弓削商船高等学校主催でサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業の一環として、教員が弓削中学校へ出向き、講義・実習を行い、中学生に科学技術、理科・数学に関する興味・関心と知的探究心を育成することを目的として行われました。

一日目は、三年生がコンピュータの組み立て、二日目は、二年生がプログラムの作成、三日目は、一年生がラジコンカーの組み立てを行いました。生徒たちは、プログラミングやコンピュータなどへの興味関心を高めることができました。



—全員が主役— 第38回 商船祭

11月8日・9日の2日間、弓削商船高等学校において、第38回商船祭が開催されました。

今年のテーマは、「Reading part of All Members! —全員が主役—」で、校内では、バザーや様々な出し物、教室では各種研究成果の発表や説明等が行われ、大勢のお客さんで賑わっていました。また、弓削丸による弓削島一周航海も行われ、お客さんは、めったに乗船することのできない弓削丸で気持ちの良いクルージングを楽しんでいました。



生名地区

「海のゆりかご」を守るために

10月19日、岩城・生名漁協の主催により生名島蛙石海岸において、アマモの移植を行いました。

当日は、愛媛県水産課の協力・指導のもと、地元住民の参加もあり総勢40名ほどで、ポット（土に種を入れたもの）、粘土団子（粘土に種を入れ団子状にしたもの）及びマット（海に還る素材のマットに苗を入れたもの）の3通りのアマモを植えることができました。

こうした活動で「海のゆりかご」を守ることに、目指す「豊かな海」の実現に向け、今後も継続して取り組みたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



第37回上島町いきな文化祭

11月8・9日の両日、生名小学校体育館において第37回上島町いきな文化祭が催されました。総合開会式は、雨天のため体育館で行われましたが、展示会では、生名人物伝「濱田國太郎」展や木彫・陶芸・園芸・俳句・短歌：手作りの温もりを感じる作品や芸術作品でいっぱいでした。心あたたまるお茶席やふれあい市で賑わいを見せ、2日目の芸能発表会では、伝統文化子ども教室から琴・尺八の合奏や舞踊・銭太鼓・邦楽などもあり多数のお客さんが訪れました。また、上島・伯方地区親善囲碁大会も開催され、「であい」「ふれあい」の場となりました。



食育教室「ぱくぱく・きっず」

10月22日、生名保育所において食育教室「ぱくぱく・きっず」を開催しました。今回は、保健師さんからの「早寝・早起き」についての話を聞いた後、箸を使ったゲームに挑戦しました。その後は、ホットプレートでお好み焼き作り、我が子が卵を割る姿に、おっかなびっくりのお母さんや包丁でキャベツのせん切りをする子どもを安心して見守っているお母さんなどいろいろな様子でした。みんなで焼いた栄養満点のお好み焼きは、おいしくて何度もおかわりする子もいました。



生名地区合同 お達者くらぶ

10月16日、生名保健センターにおいて生名地区合同の地域リハビリ「お達者くらぶ」を開催しました。普段は、毎月、別々の集会所でリハビリを行う参加者14名が集い、体操やレクリエーションを楽しみました。チーム対抗のゲームでは、真剣ながらもうまくできないものどかしさに、おなかを抱えて笑い合いました。その後、保健栄養推進協議会生名支部会員が用意した秋の趣向たっぷりの食事を満喫した参加者は「楽しかったねえ」と、大満足で家路につきましました。



魚島地区

魚島小中学校 人権の花運動

11月4日、上島町人権擁護委員会より人権の花の苗木として葉牡丹とパンジーの贈呈が行われました。人権擁護委員の横井義弘さんによるメッセージと共に魚島小・中学校に贈呈され、児童・生徒・先生方で花の色、バランスなど考えて寄せ植えをしました。丹精込めて育てられ「花のリレー」として魚島文化祭、龍宮苑をはじめ、郵便局、診療所等へ贈られ、お正月には魚島住民の目を楽しませてくれるでしょう。



少数民族 魚島文化祭

11月15・16日の両日、魚島開発総合センターにおいて、魚島文化祭が開催されました。

15日午前に行われた芸能発表会では、舞踊やカラオケ、軽音楽部によるバンド演奏があり、賑やかな発表会となりました。

また、弓削詩吟部と生名舞踊部の友情出演があり、観客から拍手喝采がおこりました。

午後からは文化公演が行われ、坂越加奈さんの歌謡ショーと南志保さんの舞踊ショーを楽しみました。

15・16日に行われた文化祭では、書画や写真、手芸などの展示作品を鑑賞しながら、青年団と婦人会によるバザーや喫茶コーナーで一休みするなど、観覧者は晩秋のひと時を満喫しました。



岩城地区

文化の秋を満喫！

岩城文化展・芸能発表会

11月8・9日の両日、岩城開発総合センターにおいて第37回文化展と第16回芸能発表会が開催されました。

8・9日にかけて開催された文化展は、書道、絵画、手工芸品、生け花、各学校等からの出展があり、約670点の作品が展示されました。

9日に開催された芸能発表会は洋楽・舞踊・カラオケ・コーラス・マンドリンなどの各部が日頃の練習の成果を十分に発揮しました。訪れた観客からは、一生懸命演じる姿に温かい拍手が送られていました。

また会場では、レモンティーのサービスや、囲碁教室、押し花

教室もあり多くの人が文化の秋を満喫しました。



弓削地区

「絆」 弓削地区文化祭

11月8・9日の両日、せとうち交流館及び弓削体育館において「絆」をテーマに弓削地区文化祭が開催されました。

8日の「第25回芸能発表会」では、約2000人の観客が訪れる中、銭太鼓や民謡など文化協会弓削支部の方々が日頃の鍛錬の成果を発表しました。

また、魚島支部から舞踊の交流があり華麗な踊りに会場は魅了されました。

8・9日にかけて行われた「第53回町展」には、保育所園児から高校生までの力作や、文化協会・一般からの作品等約500点が出展され、観覧者も興味深く見入っていました。



弓削小4年生 芋の収穫

10月23日、弓削小学校の4年生が、6月に植えたサツマイモの収穫を行いました。地元指導者と農政普及員の指導のもと、みんな一斉に掘り始めると、大きく育ったサツマイモが次々と土の中から顔を出し、自分の掘った芋の大きさを比べるなどして喜んでいました。この芋の収穫は、自然や地元の農業者の方々と触れ合い、農作物を育てて収穫する喜びを味わうことを目的に毎年行われています。なお、今回収穫した芋は、後日調理され、お芋パーティーで美味しくいただきました。

